



今号の内容

- ・YOSHITOYO's Questions
～よしとよの議会報告～
- ・市議会議員のお仕事とは？

那覇市議会議員
あらかきよしとよ
新垣 淑豊

Vol. 3
2018 Aug

TaN Think Talk about Naha

TANとはThink About Naha、Talk About Naha（那覇について考えよう・話しあわせよう!）「接点」という意味のTangent（タンジェント）から名をつけました。市民と市民そして市民と議会や那覇市が繋がるような情報を伝えたいと思いを込めて発行する議会報告紙です。多くの皆様に目を通してください、ご意見をいただければ幸いです。

YOSHITOYO's Questions よしとよの議会報告



議会で取り上げた質問について「なぜ？」その問題を取り上げたか
「どのように」那覇市が考えているかなどをお伝えしていきます。

一般質問

文化が大事って言ってるが…



所蔵品収納のタンス(女性休憩室)

那覇市ぶんかテンプス館は国際通りの中心地にあり、多くの観光客が行き来しています。そこには那覇市伝統工芸館が設置されています。その施設を調べてみると…

- ・昨年7月より1年以上も1階から2階へのエスカレーターが止まっている(8月修繕予定)
- ・伝統工芸館の所蔵品(人間国宝の作品も!)の保管状況が非常に悪い。

そんな状態です。エスカレーターが止まっていることで施設利用者にも影響があります。また今後

100年先に伝えて行かねばならない那覇市の大切な財産である工芸所蔵品も女性休憩室の片隅にあるタンスに保管されています。そして展示の作品も温度・湿度が管理できない環境にあります。現在は運営も大変厳しい状況であり、ここ2年は赤字となっています。

文化を大事にと言うのであれば、「今」あるものを大切にし、市民や那覇を訪れる方へお伝えするためのお金をかけることも必要ではないでしょうか?と質問を通してお伝えさせていただきました。

一般質問

那覇市の子どもは那覇市が守らないとね!

那覇市を所管する沖縄県中央児童相談所は本島の浦添市以南、近隣離島では粟國・久米島・慶良間諸島、そして宮古、石垣はもとより西は与那国、東は南北大東までの広大な圏域で、人員も厳しいと言われます。

那覇市も中核市として多くの権限が委譲されるようになりました。その一つとして児童相談所の設置もできます。

しかし、現状は毎年6億円の経費がかかるということ、人員の確保が難しいということで、現段階で設置をする予定はありません。

それでは主体は沖縄県のまま那覇市の子ども担当の職員として職員を派遣することはできないかと聞いてみたところ「考えていない」と返答がありました。子どもは伝えたくても、行動したくともなかなかできない…だから周りの大人が気づいて手を差し伸べることが必要です。

県外の中核市では市長が「自分の市の子どもは自分たちが守る」と児童相談所を設置しているところもあります。また今後予定している市もあります。

今の那覇市の方向性には大いに異論を唱え、早急な対応を提案していきます。



沖縄県中央児童相談所

一般質問

住み慣れた地域で生活を続けるために

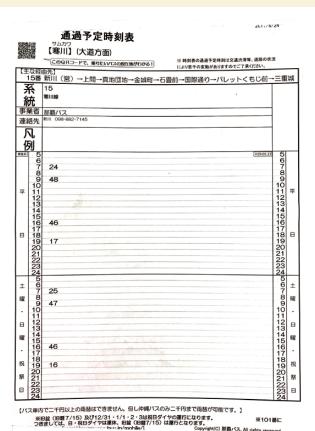


地域包括支援センター城西

平成30年10月から訪問介護において、介護の度合いによって食事の支度や洗濯、買い物、家の清掃などの生活援助の回数の制限がなされます。その生活援助申請の際に、那覇市ではこれまで同居の家族がいる場合は、その家族が高齢で介護が必要、疾病、障がいを持つなど理由が明らかな状態でも頻繁に理由書を出さなければなりませんでした。しかし、この4月からはケアマネジャーと職員の負担軽減に向けて理由書提出回数の

軽減などを行いました。煩わしい手続きや、申請の回数が軽減されると本当に必要な支援ができると思います。財政が厳しいこの那覇市において不要支出は抑えながらも適正な支援することが住み慣れた地域で生活することには必要だとお伝えしましたところ介護支援専門員協会など専門家からの意見を取り入れ、利用者のために慎重に取り組むとの返答をいただきました。

那覇市内なのにバスが1日4本…



寒川バス停時刻表

モノレールの乗車率は年平均125%、タクシーやバスの運転手さんも年中募集するほど乗務員が不足しているようです。と言うことは路線や乗客が増やせない。現在、久茂地への建設が予定されている新市民会館へは公共交通を利用して欲しいと言うからには市内各所から久茂地に向かっての公共交通の利便性の向上についてしっかりと打ち合わせがなされているかと言うと、これまでの議会答弁も合わせて、まだまだ不十分であると感じています。

私の住む金城ダム通りは1日のバスが4本、朝2本夕方2本と非常に使いづらく、これまでにも中学生から市議会へ陳情が行われています。私も夕方以降

の会合に出かける際にはバス利用ができないので結果マイカー利用をします。久茂地地域の整備だけではなく、他の地域の交通利便性を良くすることも必要ではないでしょうか？

市内には真和志や首里などの道路幅が狭い地域、若狭地域、安謝・曙地域などモノレールやバス利用が難しい場所が多くあります。住民が外出をする手段を確保することで、子どもからお年寄りまで楽しく出かけることができるようになります。この那覇のまちを盛り上げていくことになります。

新市民会館の市民負担が10数億円も増えるかも！住民投票はいかが？

2月議会で予算は通過したものの、久茂地の市民会館建設に対して入札に応じる企業がなかったこと、私の周辺でもまだ理解が得られていると感じないため「住民(市民)投票の声があがったらどうしますか?」という質問をしました。

市長より「一般論として住人投票の結果につきましては市民の意見として尊重されるべきものと考えております。しかしながらこと新文化芸術発信拠点施設整備事業につきましては、皆さんよくご存知のように平成24年からスタートいたしまして、基本構想、基本設計、さらに管理運営計画に至る各段階において、説明会や市民ワークショップ、ヒアリング等を行い、多くの市民の皆様方にご参加をいただきて様々な意見を頂戴しております。その上で、そのご意見を取り入れて事業を進めてまいりましたところでございます。またこれまで各段階において、市民の代表でいらっしゃる議員の皆様方に本事業の予算や議案の審議をしていただいております。議会の承認を得

ながらこれまで進めてまいりました。このように議員の皆様を始め多くの市民の皆様とともに長い年月をかけて議論を積み重ね、ここまで来ております。その民主的な手続きを経てきた経緯と住民投票の関係性も慎重に議論されなければならないと考えております」という答弁をいただきました。その後の部長からの答弁では「この事業については進めいくべきものである」ということでしたが、他の議員からもこの6月定例会の質問全般において、工事を進めるにあたり予算を増額するのか、建物の設計を変更し金額を予算内に収めるかの方針もまだ見えていない状況なのに進めていくという判断をしていることに驚きを隠せませんでした。一説では市と工事業者の見積もりの差額は5億~10億円とも言われています。建物だけでさえ、この状況ですから電気や他の設備などの増額も可能性としてはあるのではないかと思っています。

また他の質問と合わせ「今」早急に必要な予算確保がなされていない事業に対してケア



がなされていないことに対し意見を述べて本議会の質問を終えました。

※8月の臨時議会において16億円の増額補正が提案されています。

連載コラム 市議会議員のお仕事とは？



国立中山大学 沖縄県からの留学生と一緒に

「行政視察について」

議会の合間の時間を使い、那覇市の課題解消や発展の参考にするために他の都道府県や市町村、また外国の行政や施設を視察します。

平成30年6月定例会終了後、7月に台湾高雄市へ行ってきました。

以前、市議会は年4回の定例会と必要な時に行われる臨時会があるとお伝えしましたが、今回は議会が無い時にはどのような事をしているかを少しお話させていただきます。

【公共交通政策】那覇市の大きな課題である渋滞緩和の参考としてLRT(路面電車)やレンタル自転車について

【産業創出】輸出加工区という海外への製品輸出の製造や輸送などの税制、その他が優遇されている地域への企業の誘致について

【港湾再開発】港に古くからある倉庫群を国の文化財として保存しつつ芸術特区としてアーティストの作品展示や飲食店、イベントホールとしての活用について

【教育】沖縄と同じく海に囲まれる地域として海洋研究を熱心に取り組む大学、観光人財の育成についての取り組みをする国立大学
以上についての視察を行ってまいりました。

今回の視察では他の地域を参考にして沖縄県や那覇市で仕組みや施設を作ることも重要ですが、

他都道府県や他国との協業や制度を活用することにより人財の育成や製品の海外販路拡大・新産業育成などを素早く、ニーズに合わせて取り組むこともできるのではないかと感じました。

多くの事を見聞きし、地域の方々との共有もしっかりとやっていきたいと考えています。そして沢山のご意見をいただきながら一緒になって那覇の発展に活かすことができるよう励んでまいります。



LRT駅にて



国立高雄餐旅大学にて